

## 第8回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事録要旨

日 時 平成22年5月19日(15:00~16:30)  
場 所 高山市役所 行政委員会室(3階)  
出席委員 10名

《基盤整備部参事挨拶》

《変更委員の紹介》

《会長挨拶》

《議 事》 協議事項

総合交流センターの平面計画(案)について 事務局より説明

《質疑等》

会 長：事務局から説明のあった計画案に対し、施設の配置について、また施設の機能について、市民参加や観光客を考えた際の機能について、イベント開催時の機能について等のご意見を頂きたい。

事務局：18日に検討部会を行ったのでその報告を六角部会長よりお願いしたい。

会 長：18日13:30から検討部会を行ったので報告する。

駐車場について275台が駐車できるとあるがイベント時に周辺道路が渋滞するのではないかという意見があり、渋滞時の緩和策を考えて行かなくてはならない。また、275台が一斉に駐車場から出る場合に駐車場の中が大混乱になると思われ、事前積算機やどの区画が空いているかを知らせる様な装置も必要と思われる。他には、身障者用の区画が4区画では少ないのではないか。施設に入った場所に総合インフォメーションが必要なのではないか。救患が出たときにストレッチャーが入ることのできるエレベーターの広さ。地下水や太陽光を利用した設備。スロープや手すりの設置や視覚障害者用の音声誘導する設備。また、プールについては、健康増進施設に子供プールが必要か。サウナの設置。運営については子供プールを分けずに時間や曜日によって棲み分けしてはどうか等の意見があった。おおまかには以上である。

会 長：この意見に対しての答えは。

事務局：今後の検討課題とする。

委 員：人件費はかかるかもしれないが、自動販売機はいらないのではないかと。売店を設置して人員を配置した方が防犯上も良いと思う。

人は話しをしたり食べることによって心が和む。高山市らしさがあると  
思われ雇用促進にもつながるのではないかと。2F3Fの自動販売機を  
設置して欲しくない。

委員：施設の運営は市で行うのか。駐車場についてはどのような料金設定を  
考えているのか。既存のプールや駐車場が今現在どの位置にあって  
それらの使い勝手と交流センターとの関係を教えてほしい。  
また、事業完了の年度はどの時期にと考えているのか。

事務局：管理については具体的には決まっていないが、今までの流れから考  
えるといずれは指定管理にと考えている。温水プールは奥飛騨には  
あるが旧高山市にはない。夏場には市民プールや学校のプールはあ  
る。民間では飛騨ホテルにプールがある。駐車場については東側にも  
市営駐車場は整備されている。西側にも200台程駐車できる駐  
車場はある。施設の完成については24年度の早い時期にと考えて  
いる。

委員：交流室が4部屋あるが、どのように使用をしていくのか。文化会館  
との違いについて教えて頂きたい。

事務局：文化会館にて利用できる会議室については100%の稼働率と聞い  
ている。交流室は目的を持った団体が使用することも考えられる。  
料金設定等については決まっていないが、多目的室1・2については  
料金徴収する。

委員：プールや更衣室がスッキリしていない感じする。どこから出入りす  
るのが分からない。もう少しスッキリした方がよいのでは。

事務局：基本的な動線については変わらないと思うが、広さ等については今  
後考えていかなければならない。

(プロジェクターにて動線を説明)

委員：温水プールということで、親子さんを含めたくさんの方が利用する  
と思われるが、大人の中に子供が混ざってごちゃごちゃになってし  
まうのではないかと。プールに入らない人の事も考えてはどうか。

会長：私もプールに入らない人が気になっていた。トレーニング室の横に  
ギャラリーがあるが、ベンチ等を置いて子供達を確認しながらくつ  
ろげる喫茶店など設置してはどうか。売上にも繋がるのでは。

委員：市民の方から要望が出ていると思われるが、今回の計画案と要望と  
にどの程度のギャップがあるのか。私は子供プールはいらないと思  
う。足腰が悪い方が子供とぶつかって事故を起こすことも考えられ  
る。この様な混乱を防ぐためにも子供プールはどうなのか。

実際どのような要望があるのか。

事務局：歩行できるプールの設置を望む意見が多い。計画では2レーンを優  
先的に歩行するコースとして対応できないかと考えている。また水

温についても温度が低いのではという意見もある。

委員：2レーンという数は妥当な数なのか。

事務局：2レーンでしか運動できないという事ではない。2レーンについては優先的に考えている。

委員：時間帯によって分けている施設もあるのではないか。

私は逆に子供プールが小さいのではと感じる。今の子供達は、川で泳ぐことも出来ないで子供プールの様な多少の遊び場もいるのではないか。もう少し大きくしても良いのでは。

委員：交流センターについての予算は31億としている。民営であればかなりの事は出来ると思うが、公が行う場合に競合する事について棲み分けが出来ないか協議してきた。風呂については体に付いた塩素を落とす為に必要と思われる。プールについては子供教室を始めるとヒダホテルに影響がある為、当面考えてはいない。

市には学校を卒業して子供を持つまでの間若者が集える場所は青少年ホームしかないので若者が寄ってくるような施設にしたい。

いずれ青少年ホームの機能をこの施設に移って欲しいと思っている。

稼働床についてはランニングも掛かるので固定式の深さを調整するものを入れる様な事を考えている。利用者は1年間で12万程度の利用と考えている。2mあれば1レーンで3人泳ぐことが出来るので3コースは泳ぐ為に確保しなければと思っている。

障がい者の利用状況がどの様なものなのか署名した人とも意見交換し工夫、修正はしていかなければとは思っている。

会長：プールサイドが狭い様に感じる。

事務局：西側は3m~4mは必要と思っている。

委員：プールを上階に持ってきたのは何故か。また、自由通路や駅舎と施設との整合性は。施設だけ先行してもどうなのかと感じる。

大変ではあると思うが、いろいろな人から意見を聞いて欲しい。

事務局：プール利用者と歩行者との視線が直接交わらない様に2Fに設置した。

事務局：自由通路については要綱は出ているが現在JR東海、JR貨物と協議中である。協議成立してから完成まで3年はかかる為、早く協議を進めなければならない。

会長：ここ5年程、別の施設運営を行ってきた。NPO団体等は1坪の広さでいいので拠点が良いと言っている。その施設にも年間8万~10万円の利用料を払ってくれる。交流室も1坪に換算すれば60区画ほどできるのではないか。自主的に活用してもらえれば自然と賑わいが出てくるのではないか。そうした場合カフェは必要ない様な気がする。コンビニでも良いのではないか。トイレも少ない様に感

じる。プールについては外国人がふらっとはいることも考えられるが、その場合秩序が守れるのかも心配である。

会 長：コンセプトをハッキリ、スッキリする事が重要である。

駐輪場については何か意見はないか。

委 員：駐車場は裏というイメージになるが、施設全体が上手く機能する様にしなければならない。また、本日建物の木材使用に関する法が可決された。公共施設については積極的に使用するような内容になっている。

会 長：駐輪場の管理について教えて欲しい。駐輪場は夜でも止める事が考えられるが夜間の管理体制はどの様に考えているのか。またスペースに入りきらない様な需要があるのか。料金体制や管理の配置等の考え方は。

事務局：利用者の大半は高校生で、定期契約が多いと思われる。管理体制については具体的に良い方法があれば教えて頂きたい。

会 長：簡単に施錠ができて簡単に持って行かれない方法を考えなければ。

委 員：駅前に個人経営している自転車預かり所があるが、全てこちらの駐輪場に移ってしまうのではないか。

委 員：駐輪場と駐車場は暗いイメージがある。実施設計の中で暗いイメージにならない様にして頂きたい。

委 員：古川の船津川へ行った際に子供が囲碁をやっていて、和やかな良い感じであった。交流室については毎週定期的に借りる人がいる場合、結局限られた人の交流になってしまう。また個人が講師を依頼して教室等を行った場合に営業活動と思われるのではないか。

会 長：利用規定を作るなどで管理してはどうか。

委 員：利用規定は作っていかなければならないと思っている。後は一定のルールの中で個別に判断するしかないのではないか。

委 員：交流センターについては、飛騨の匠の技術を取り入れる等、是非とも木材を活用して頂きたい。

委 員：使用していくのが当然である。県内産とはいかないにしても活用する事が大切である。

委 員：木材を多く利用したほうが高山市らしさが出るのではないか。

会 長：多くの意見を頂いた。これらの意見を取り入れて頂き最終案を検討して頂きたい。

《閉会》